

令和5年版

消防年報



— 令和6年3月1日 高規格救急自動車更新 —

津幡町消防本部

は し が き

この年報は、津幡町の消防業務の現況と令和5年中の諸統計を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

過去の貴重な経験を活かし、快適で安全・安心を実感できるまちづくりを推進するため、関係者各位の一層のご理解とご指導をいただければ幸いと存じます。

令和6年9月

津幡町消防本部

目 次

津 幡 町 の 概 要 と 町 勢	1
津 幡 町 の 消 防 の あ ゆ み	3
消 防 組 織	14
消 防 の 経 費	20
予 防 関 係	22
通 信 ・ 装 備 関 係	30
火 災 統 計	34
救 急 救 助 統 計	39
消 防 団 関 係	45
そ の 他	48

津幡町の概要と町勢

津幡町は石川県のほぼ中央に位置し、県都金沢市の北に隣接しています。古くから加賀、能登、富山県への分岐点として、重要な役割を果たしてきました。

町の面積は110.59平方キロメートルで、東部には低い丘陵性山地が連なり、谷間の土地が枝状に発達、西部には幅2～3キロメートルの平坦地が広がり、県内最大の潟である河北潟に続いています。

町の中央には、本州有数の規模を誇る県森林公園、西南部には日本海側最大級の漕艇競技場を備える河北潟、東部の富山県との県境には、倶利伽羅源平合戦「火牛の計」でも知られる倶利伽羅峠があります。

昭和45年以降、毎年1%前後の緩やかな人口増を続けてきましたが、平成に入ってから増加傾向が加速し、現在の人口は3万7千人弱となっています。

所在地	津幡町字加賀爪ハ109番地1
-----	----------------

位置	東経 136° 43′ 55″
	北緯 36° 40′ 02″

面積	110.59km ²
----	-----------------------

人口	男 18,025 人 女 18,766 人
	計 36,791 人

世帯数	14,078 世帯
-----	-----------

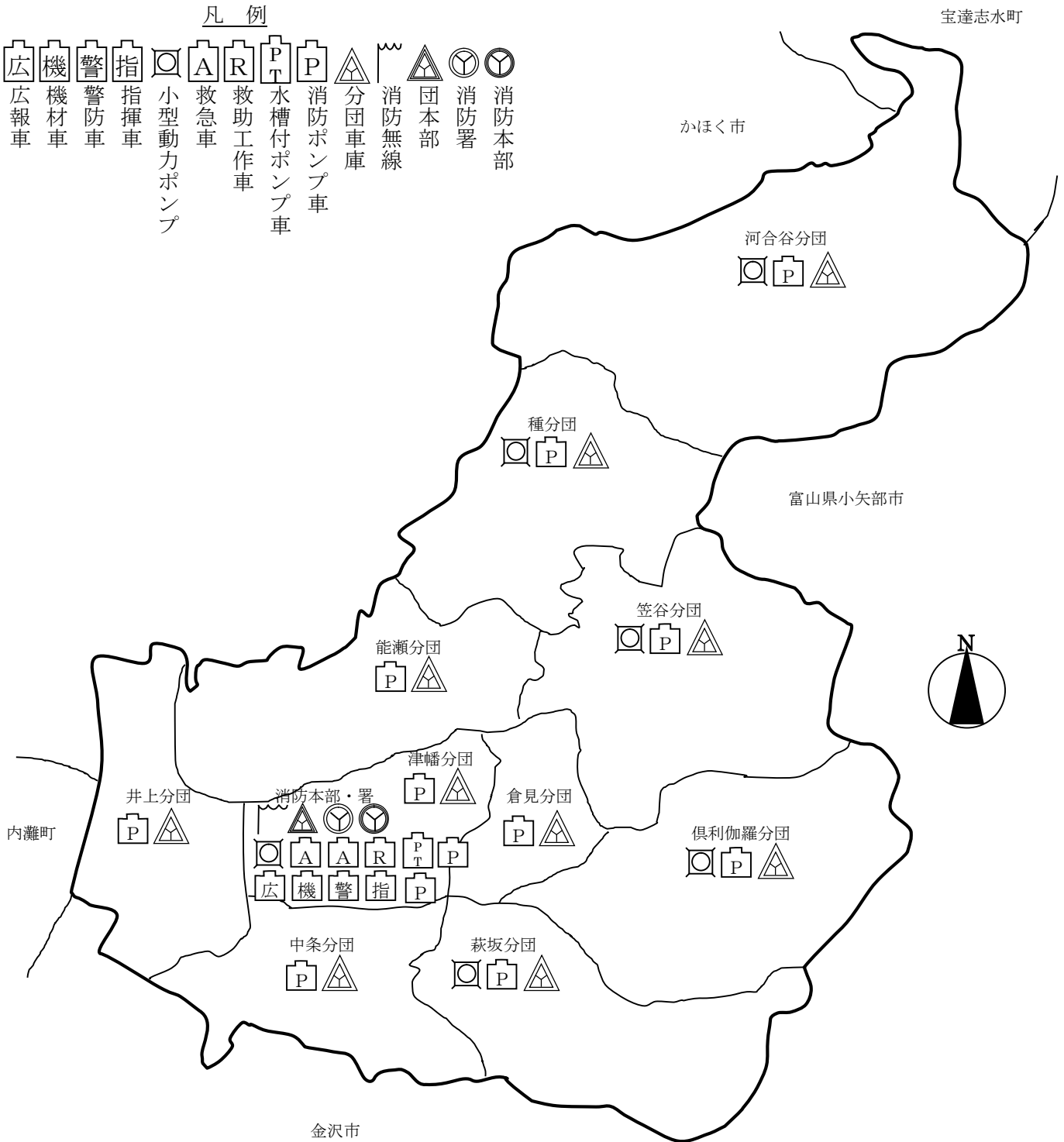


(R6.4.1 現在)

津幡町全図

凡 例

- 広 広報車
- 機 機材車
- 警 警防車
- 指 指揮車
- 小型動力ポンプ
- A 救急車
- R 救助工作車
- PT 水槽付ポンプ車
- P 消防ポンプ車
- △ 分団車庫
- 消防無線
- △ 団本部
- ◎ 消防署
- ◎ 消防本部



津 幡 町 の 消 防 の あ ゆ み

年 月 日	あ ゆ み
S 30. 6. 1	旧津幡町、中条村、井上村、英田村、笠谷村、河合谷村、町村合併に伴い津幡町消防本部、署を普通消防ポンプ車 1 台、消防職員 6 名で発足する。
S 32. 1. 21	津幡町消防団団長に矢田富雄氏が就任
S 32. 2. 1	俱利伽羅村合併、消防職員 1 名増員、旧俱利伽羅村の消防団、2 ヶ分団を編入し、10 分団、ポンプ自動車 10 台、団員 217 名となる。
S 32. 4. 1	常勤署長及び消防士 1 名採用、消防職員 8 名
S 32. 5. 1	消防士見習いの昇格による 1 名増員、消防職員 9 名
S 32. 12. 25	消防署に小型ポンプ（芝浦）購入配備
S 35. 1. 21	津幡町消防団団長に上宮八郎氏が就任
S 36. 3. 30	本部署に火災専用電話が設置される。
S 36. 8. 25	消防署に小型ポンプ（芝浦）購入配備
S 37. 7. 21	森田ポンプより萩坂分団車購入配備
S 37. 8. 28	日本機械より津幡分団車購入配備
S 37. 12. 7	本部署に救急車 1 台購入配備
S 38. 4. 6	専任署長辞任同日付をもって、消防団長が非常勤消防署長を兼任し消防職員 8 名となる。
S 38. 9. 23	森田ポンプより俱利伽羅分団車購入配備
S 39. 8. 31	本部署に森田ポンプより普通ポンプ自動車購入配備
S 39. 10. 7	町役場職員 19 名兼任による消防協力隊が結成される。
S 39. 12. 22	津幡町字清水チ 321 番地に本部署庁舎新築移転業務開始
S 40. 2. 1	津幡町消防団団長に岩井重信氏が就任
S 40. 4. 1	政令第 16 号の規定に基づき消防本部並びに消防署設置の政令指定される。 消防士 1 名採用、消防職員 8 名
S 40. 8. 1	長野ポンプより笠谷分団車購入配備 署に小型ポンプ（芝浦）1 台購入更新配備
S 40. 12. 24	長野ポンプより水槽付ポンプ車 1 台購入配備
S 41. 3. 3	消防長庁官より消防表彰規定により表彰旗を授与される。
S 41. 4. 1	消防署協力隊解散消防士 2 名採用、消防職員 10 名となる。
S 41. 7. 29	森田ポンプより種分団車購入配備

年 月 日	あ ゆ み
S 42. 4. 1	消防士 1 名採用、消防職員 11 名となる。
S 42. 4. 5	消防士 1 名採用、消防職員 12 名となる。
S 42. 6. 23	石川県より本部署に救急車（トヨタ）譲与される。
S 42. 8. 1	東京発動機より小型ポンプ（トーハツ）購入、署 2 号車に搭載
S 42. 8. 8	長野ポンプより井上、倉見分団車（トヨタ）2 台購入配備
S 43. 4. 1	消防士 2 名採用、消防職員 14 名となる。
S 43. 8. 8	長野ポンプより中条分団車（トヨタ）購入配備
S 43. 9. 13	本部に消防用自動 2 輪車（赤バイ）1 台購入配備
S 43. 11. 25	本部に消防用無線基地局 1、移動局 2、携帯局 3 局が装備される。
S 44. 3. 27	消防団員定数条例改正 164 名となる。
S 44. 7. 1	津幡町消防団団長に久世嘉太郎氏が就任
S 44. 8. 7	長野ポンプより能瀬分団車購入配備
S 44. 12. 1	消防長に竹田常雄が就任
S 45. 4. 1	消防士 1 名採用、消防職員 15 名となる。
S 45. 10. 1	消防士 1 名採用、消防職員 16 名となる。
S 45. 12. 1	消防士 2 名採用、消防職員 18 名となる。
S 45. 12. 25	長野ポンプより軽化学車 1 台購入、署に配備
S 46. 4. 1	消防長事務取扱に吉田芳孝助役が就任 消防士 1 名採用、消防職員 19 名となる。
S 46. 10. 15	本部に指令車（トヨタ）購入配備
S 47. 12. 25	本部に消防用無線移動局 1 増設される。
S 48. 3. 20	消防団員定数条例改正 165 名となる。
S 48. 8. 1	河北郡内 5 町間に火災に対する相互応援協定を結ぶ。
S 48. 9. 20	東京発動機より、小型ポンプ（トーハツ）購入、署 2 号車に搭載 石川トヨタより救急車（トヨタ）購入、署に配備
S 48. 11. 9	日本損害保険協会より普通消防ポンプ自動車（トヨタ）が寄贈され、署に配備
S 49. 10. 9	石川県林野火災防備訓練が森林公園内にて実施される。
S 50. 10. 1	消防士 2 名採用、消防職員 21 名となる。
S 51. 1. 5	消防長事務取扱に矢田剛町長が就任
S 51. 4. 16	2 号車を機材車に改造、消防署配備
S 51. 8. 12	長野ポンプより津幡分団車（トヨタ）購入配備

年 月 日	あ ゆ み
S 52. 9. 13	長野ポンプより萩坂分団車（ニッサン）購入配備
S 52. 12. 5	本部庁舎新築落成、加賀爪ニ3番地の7に移転、業務開始 本部署に消防救急指令装置1台（病院標示盤付） 分団召集無線制御サイレン吹鳴装置一式 テレビ監視装置（ビデオデッキ内設） 自動気象観測装置（5観測） テレホンガイド（10回線実装可能）が設置される。
S 53. 1. 1	本部に予防課、警防課の2課を置く
S 53. 3. 8	津幡町消防団団長に由雄寛吉氏が就任
S 53. 4. 1	消防士2名採用、消防職員23名となる。
S 53. 8. 1	長野ポンプ車より俱利伽羅分団車（トヨタ）購入配備
S 54. 3. 30	種分団格納庫新築
S 54. 4. 1	消防士1名採用、その他の職員1名採用、消防職員24名となる。
S 54. 7. 1	消防長に広瀬久一が就任
S 54. 8. 13	森田ポンプより消防本部署に屈折はしご付消防自動車購入配備
S 54. 8. 30	長野ポンプより河合谷分団車（トヨタ）購入配備
S 54. 10. 11	石川県防災総合訓練が、津幡高校前広場を主会場に開催される。
S 54. 11. 11	津幡ライオンズクラブより救急救助用固定マジックギブス及びポートパワー一式寄贈される。
S 55. 7. 30	長野ポンプより、笠谷分団車（トヨタ）購入配備
S 55. 8. 25	日本船舶振興会より広報車（トヨタ）が寄贈され、消防本部に配備
S 55. 8. 30	能瀬分団格納庫新築
S 56. 1. 28	日本自動車工業会より、救急車B2型（ニッサン）が寄贈され、消防署に配備
S 56. 3. 25	消防団員定数条例改正166名となる。
S 56. 7. 30	長野ポンプより種分団車（ニッサン）購入配備
S 57. 2. 18	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として消防本部に救助工作車購入配備（日野）
S 57. 4. 1	消防士3名採用、消防職員27名となる。
S 57. 7. 15	長野ポンプより、井上分団車（トヨタ）購入配備
S 57. 11. 5	中条分団格納庫新築
S 57. 12. 1	県内共通波無線固定局設置
S 58. 3. 14	分団召集サイレン吹鳴装置取替工事完備

年 月 日	あ ゆ み
S 58. 5. 22	第 34 回全国植樹祭消防警備
S 58. 7. 22	長野ポンプより倉見分団車（トヨタ）購入配備
S 58. 10. 19	河合谷分団格納庫新築
S 58. 10. 21	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（日野 KFP172）が寄贈され 消防署に配備
S 59. 5. 26	石川県消防長 OB 会総会津幡町で開催
S 59. 8. 3	長野ポンプより中条分団車（トヨタ F J）購入配備
S 59. 10. 26	山之内製薬株式会社より、救急車（ニッサンキャラバン 2B 型）が寄贈される。
S 59. 11. 3	津幡町合併 30 周年記念式典
S 59. 11. 26	萩坂分団格納庫改築
S 60. 8. 8	長野ポンプより能瀬分団車購入更新配備
S 60. 12. 13	津幡町消防団団長に鍛冶秀雄氏が就任
S 61. 2. 27	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として消防署に普通ポンプ自動車（トヨタ）購入更新配備
S 61. 4. 1	消防長に鉢木章が就任
S 61. 11. 21	日本防火協会より、津幡町婦人防火クラブ連絡協議会に防火号が寄贈され、消防本部に配備
S 62. 10. 13	消防指令車更新配備
S 62. 11. 8	河北郡消防訓練場（川尻）竣工記念式
S 62. 11. 20	デジタル風向、風速、温湿度計整備される。
S 63. 4. 1	消防長に長谷川重治が就任
S 63. 7. 7	長谷川重治消防長死去、7 月 9 日寺尾光現寺で津幡町職員合同葬がとり行われる。 消防長事務取扱に焼田金助役が就任
S 63. 7. 10	つばた町制 100 年記念式典
S 63. 7. 30	自主防災育成事業として、婦人防火クラブ員用法被、ヘルメット、標的、協議会旗他を整備、 記念事業としてふれあい広場で第 1 回津幡町婦人防火のつどいを開催する。
S 63. 11. 6	自治体消防発足 40 周年記念消防職団員慰霊法要が、弘願寺で取り行われる。
H 元. 2. 7	津幡分団格納庫移転新築（木造 2 階建）
H 元. 2. 10	テレガイド新機種更新 5 回線増設 12 回線となる。
H 元. 5. 16	津幡町消防本部望楼塔建替（耐錆性）
H 元. 6. 1	消防職員定数 28 名となる。
H 元. 7. 1	消防長に岩上久一が就任

年 月 日	あ ゆ み
H 元. 8. 20	町民の防火防災思想の高揚を図り、災害のない明るい町づくりを目指す第1回津幡町防災フェスティバルをふれあい広場にて開催する。 自主防災組織育成事業として、自治総合センターより婦人防火クラブ連絡協議会へ放送設備一式が交付される。
H 元. 11. 20	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として四輪駆動広報車（ニッサン）配備
H 元. 12. 19	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として四輪駆動救急自動車（トヨタ）配備 第2回津幡町婦人防火のつどい開催
H 2. 4. 1	津幡町消防団団長に中川徳二氏が就任
H 2. 8. 26	自主防災組織事業として、自治総合センターより婦人防火クラブ連絡協議会へ液晶ビジョン一式が交付される。 井上地区コミュニティ消防センター新築
H 2. 11. 30	第2回津幡町防災フェスティバルをふれあい広場にて開催
H 3. 8. 18	自主防災組織育成事業として、自治総合センターより婦人防火クラブ連絡協議会へ119番通報訓練装置が交付される。
H 3. 9. 8 ~11	第46回国民体育大会消防警備
H 3. 10. 1	消防長に宮崎利広が就任
H 3. 12. 10	倉見地区コミュニティ消防センター新築
H 3. 12. 12	油圧式救助資機材購入配備
H 3. 12. 25	消防団員公務災害防止対策推進事業として各分団へ防火衣配備
H 4. 3. 29	長野ポンプより津幡分団車（トヨタ）購入配備
H 4. 4. 28	河北郡防火協会が発足
H 4. 7. 16	中条分団車庫増改築
H 4. 8. 5	石川県総合防災訓練が津幡町にて開催される。
H 4. 11. 29	倶利伽羅地区コミュニティ消防センター新築
H 5. 2. 14	菽坂分団車（三菱）更新配備
H 5. 4. 1	消防職員定数33名となる。
H 5. 8. 17	水槽付消防ポンプ車（日野）更新、消防本部に配備（日本損害保険協会寄贈）
H 5. 10. 13	消防庁舎移転新築工事開始
H 5. 10. 26	救急自動車（ニッサン）消防本部に配備（金沢医科大学寄贈）
H 5. 10. 31	第3回津幡町防災フェスティバルを福祉センターにて開催（日本防火協会共催）

年 月 日	あ ゆ み
H 5.11.24	俱利伽羅分団車（三菱）更新配備
H 6. 2.20	萩坂地区コミュニティ消防センター新築
H 6. 4. 1	消防士2名採用、消防職員30名となる。
H 6.10.30	平成6年度津幡町母と子の防火のつどいを津幡町福祉センターで開催（日本防火協会共催）
H 6.11. 7	河合谷分団車（三菱）更新配備
H 7. 1.18 ～23	阪神・淡路大震災に災害応援のため第1次派遣隊出向（4名）
H 7. 1.22 ～24	阪神・淡路大震災に災害応援のため第2次派遣隊出向（4名）
H 7. 3.24	津幡町消防本部新消防庁舎落成 消防署に通信指令室設置 緊急通信指令システム稼働
H 7. 4. 1	消防士4名採用、消防職員32名となる。 消防庁舎内にトレーニング機器設置（寄贈・50点）
H 7. 9.18	消防職員定数35名となる。
H 7.10. 8	第4回津幡町防災フェスティバルを福祉センターにて開催（日本防火協会共催） 三交替制勤務体制試行
H 7.12. 1	消防本部訓練塔完成
H 7.12.14	高規格救急自動車（いすゞ）購入配備
H 8. 2. 6	笠谷地区コミュニティ消防センター新築
H 8. 3. 4	津幡町災害備蓄庫を消防庁舎敷地内に新築
H 8. 3.13	井上分団車（いすゞ）更新配備
H 8. 3.20	笠谷分団車（いすゞ）更新配備 種分団車（三菱）更新配備 緊急災害用飲料水浄化装置購入配備
H 8. 3.25	津幡地内に耐震性貯水槽（100 m ³ ）完成
H 8. 3.26	1本部2課1署11係となる。
H 8. 4. 1	三交替制勤務体制実施 消防士2名採用、消防職員34名となる
H 8. 8. 8	（財）日本消防協会より消防団に小型動力ポンプ付積載車及び種婦人防火クラブに軽可搬消防ポンプが交付される。

年 月 日	あ ゆ み
H 8.11.17	平成8年度津幡町母と子の防火のつどいを津幡運動公園体育館で開催
H 8.11.24	河合谷地区コミュニティ消防センター新築
H 9. 3.30	町内全域（9地区）に自主防災クラブが結成され、津幡町自主防災クラブ連絡協議会が発足する。
H 9. 4. 1	消防長に池田清一が就任 消防士1名採用、消防職員34名となる。
H 9. 8.31	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 9.10.19	第5回津幡町防災フェスティバルを津幡運動公園体育館にて開催（日本防火協会共催）
H 9.12.10	署2号車（日野）更新配備
H 10. 4. 1	消防職員35名となる。
H 10. 6. 1	女性消防団員10名採用（消防団員定例数条例を176名に改正）
H 10. 8.30	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 10.10.25	平成10年度津幡町母と子の防火のつどいを津幡運動公園体育館で開催（日本防火協会共催）
H 10.10.26	中条分団車・倉見分団車（いすゞ）更新配備
H 10.11. 8	能瀬地区コミュニティ消防センター新築
H 11. 3.26	加賀爪少年消防クラブ消防庁長官表彰受賞
H 11. 3.30	能瀬分団車（いすゞ）更新配備
H 11. 4. 1	消防士2名採用、消防職員37名となる。 津幡町消防団団長に井上信一氏が就任
H 11. 8.29	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 11. 9. 7	北中条地区に耐震性貯水槽（100 m ³ ）完成
H 11.10.17	第6回津幡町防災フェスティバルを津幡町福祉センターで開催（日本防火協会共催）
H 12. 3.26	種地区コミュニティ消防センター新築
H 12. 4. 1	消防士1名採用、消防職員37名となる。
H 12. 6. 1	津幡町消防本部公式ホームページ開設
H 12. 6. 5	救助工作車Ⅱ型（日野）更新配備
H 12. 8.27	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 12. 9.12	津幡地内に耐震性貯水槽（100 m ³ ）完成
H 12.10.18	第17回全国消防操法大会に中条分団出場

年 月 日	あ ゆ み
H 13. 4. 1	機構改革に伴い課名変更する。 消防士 2 名採用、消防職員 38 名となる。
H 13. 8. 21	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 13. 10. 21	第 7 回津幡町防災フェスティバルを津幡町福祉センターで開催
H 13. 12. 25	指令車（トヨタ）更新配備 資機材搬送車（トヨタ）購入配備
H 14. 3. 8	30m級はしご付消防自動車（日本機械）更新配備
H 14. 4. 1	消防長に廣瀬昭良が就任 津幡町消防団長に山崎正氏が就任 消防士 2 名採用、消防職員 38 名となる。
H 14. 8. 18	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 14. 9. 11	庄地内に耐震性貯水槽（100 m ³ ）完成
H 14. 10. 21	高規格救急車（ニッサン）購入配備
H 14. 10. 27	平成 14 年度津幡町母と子の防火のつどいを津幡運動公園体育館で開催
H 14. 12. 20	中条地区コミュニティ消防センター新築
H 15. 7. 12	津幡町消防協力隊発足（消防職団員 0B 52 名）
H 15. 8. 17	津幡町防災総合訓練（英田地区、刈安地区）
H 15. 11. 9	第 8 回津幡町防災フェスティバルを津幡運動公園体育館で開催
H 16. 4. 1	消防士 3 名採用、消防職員 39 名となる。
H 16. 10. 1	消防士 1 名採用、消防職員 40 名となる。
H 16. 10. 17	第 45 回石川県防災総合訓練が津幡町にて開催される。
H 17. 8. 28	津幡町防災総合訓練（住吉公園、井上地区、緑が丘地区）
H 17. 10. 16	第 9 回津幡町防災フェスティバルを津幡町文化会館「シグナス」で開催
H 17. 12. 21	高規格救急車（トヨタ）配備（社団法人日本損害保険協会寄贈）
H 18. 4. 1	消防長に藤本広昭が就任 消防士 3 名採用、消防職員 40 名となる。
H 18. 8. 27	津幡町防災総合訓練（笠野公園）
H 19. 1. 15	2 市 2 町通信指令業務共同運用合意調印式
H 19. 3. 25	能登半島沖地震（津幡町管内被害なし）にともない緊急援助隊として救助隊派遣
H 19. 8. 26	津幡町防災総合訓練（萩野台小学校）
H 20. 1. 18	広報車（ニッサン）更新配備

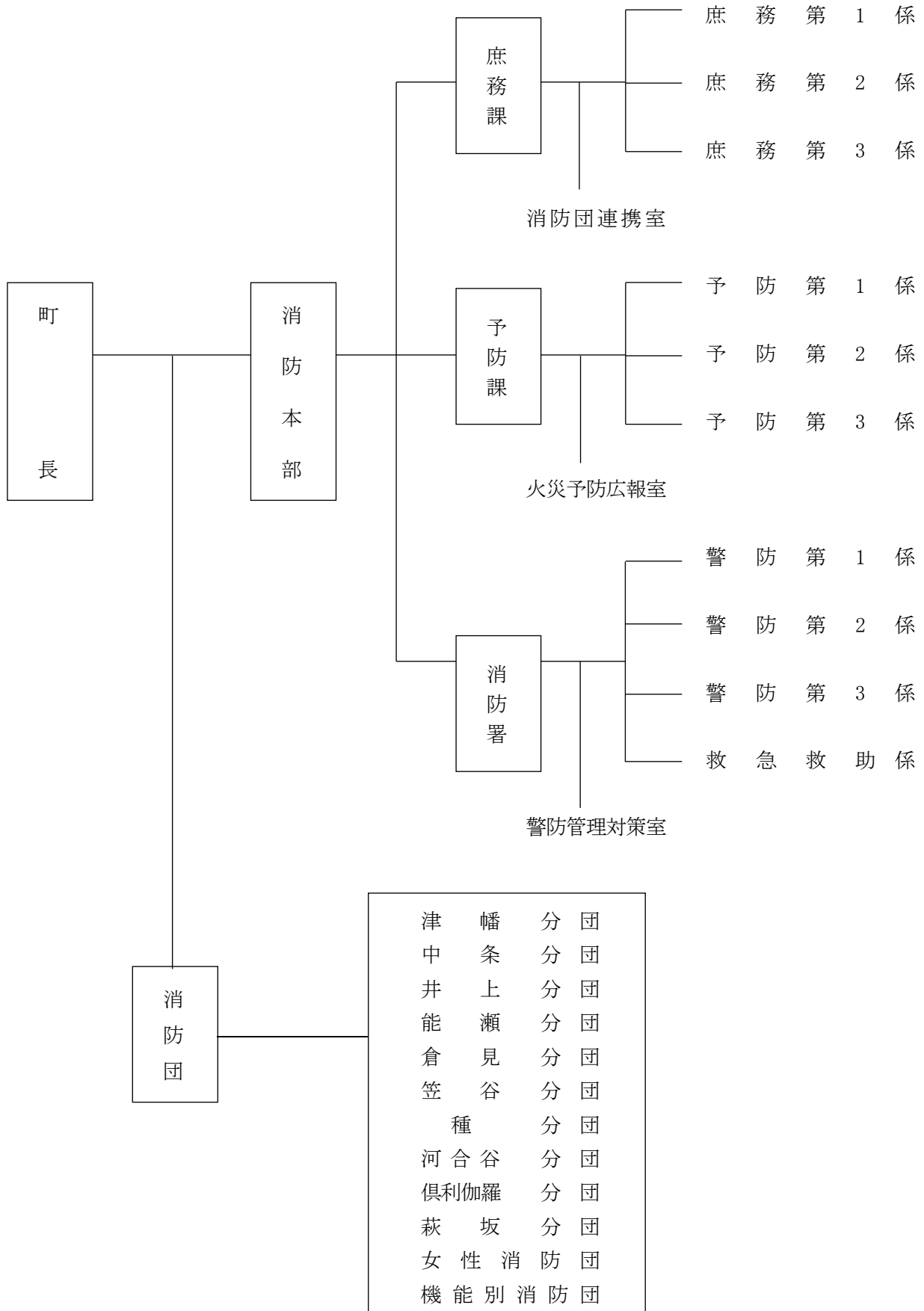
年 月 日	あ ゆ み
H 20. 2. 27	2市2町消防指令事務暫定共同運用開始
H 20. 4. 1	津幡町消防団長に吉田勝明氏が就任 消防士1名採用、消防職員40名 2市2町消防指令事務共同運用開始
H 20. 8. 13	津幡町防災総合訓練（河合谷小学校）
H 20. 11. 24	幼年消防クラブ防火のつどいを津幡町文化会館「シグナス」で開催
H 21. 1. 1	機能別団員5名採用（消防団員定例数を181名に改正）
H 21. 4. 1	消防長に高森良昭が就任 消防士2名採用、消防職員40名
H 21. 8. 30	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 22. 4. 1	消防士2名採用、消防職員40名
H 22. 8. 29	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 23. 3. 4	高規格救急車（トヨタ）更新配備
H 23. 3. 11	東日本大震災（津幡町震度2観測）
H 23. 3. 12	東日本大震災災害派遣：救急隊、支援隊（岩手県九戸郡野田村）
～3. 21	（1次隊5名、2次隊5名、3次隊5名、4次隊3名、5次隊3名 計21名）
H 23. 4. 1	消防長に國本 学が就任 消防職員定数が46名となる。 消防士3名採用、消防職員41名
H 23. 5. 12	津幡分団車（日野）更新配備
H 23. 8. 28	津幡町総合防災訓練（住吉公園）
H 24. 4. 1	消防長に西田伸幸が就任 津幡町消防団長に加茂川寛人氏が就任 消防士2名採用、消防職員42名
H 24. 8. 24	津幡町総合防災訓練（住吉公園）
H 25. 4. 1	津幡町防災行政無線運用開始
H 25. 4. 1	消防士1名採用、消防職員43名
H 25. 4. 4	津幡町彦太郎畠付近を震源とする地震が発生 深さ約10km、マグニチュード4.3、津幡町では震度4を記録
H 25. 8. 25	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 26. 3. 10	水槽付消防ポンプ自動車（日野）更新配備

年 月 日	あ ゆ み
H 26. 3. 25	萩坂分団車（日野）更新配備
H 26. 4. 1	津幡町消防団長に田中明夫氏が就任 消防士 1 名採用、消防職員 44 名
H 26. 8. 31	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 27. 3. 30	河合谷分団車（日野）更新配備
H 27. 3. 30	俱利伽羅分団車（日野）更新配備
H 27. 4. 1	消防士 2 名採用、消防職員 46 名 消防本部機構改革により係名変更する。 庶務課 庶務係、施設係、消防係を庶務第 1 係、第 2 係、第 3 係に変更する。 予防課 予防係、危険物係、指導係を予防第 1 係、第 2 係、第 3 係に変更する。
H 27. 8. 30	津幡町防災総合訓練（住吉公園）
H 27. 11. 13	笠谷分団車（日野）更新配備
H 27. 11. 13	種分団車（日野）更新配備
H 28. 4. 1	消防救急デジタル無線運用開始
H 28. 8. 28	津幡町防災総合訓練（あがた公園）
H 28. 12. 12	中条分団車（日野）更新配備
H 28. 12. 12	井上分団車（日野）更新配備
H 28. 12. 12	倉見分団車（日野）更新配備
H 29. 2. 1	高規格救急車（トヨタ）更新配備
H 29. 3. 29	消防ポンプ自動車（日野）更新配備
H 29. 4. 1	消防長に松浦清市が就任 津幡町消防団長に七黒勇夫氏が就任 消防職員定数が 52 人となる。 消防士 2 名採用、消防職員 46 名
H 29. 7. 13	軽トラック（スズキ）購入配備
H 29. 8. 27	津幡町防災総合訓練（あがた公園）
H 30. 1. 19	津幡町「消防団応援の店」交付式 事業スタート
H 30. 7. 1	災害弱者緊急通報システム民間業者委託による新システムへ切替
H 30. 8. 26	津幡町防災総合訓練（中条公園）
H 30. 12. 3	能瀬分団車（日野）更新配備

年 月 日	あ ゆ み
H 30. 12. 13	広報車（スバル）更新配備 日本消防協会福祉増進事業（消防資機材交付事業）より交付
H 31. 3. 28	高機能消防指令システム運用開始式（2市2町消防指令事務共同運用）
H 31. 4. 1	高機能消防指令システム本運用スタート（2市2町消防指令事務共同運用）
R 元. 8. 25	津幡町防災総合訓練（中条公園）
R 元. 10. 3	救助工作車Ⅱ型（日野）更新配備
R 2. 4. 1	消防士2名採用、消防職員46名
R 2. 12. 18	指揮車（トヨタ）更新配備
R 3. 4. 1	消防長に松本聖史が就任、消防職員45名
R 3. 6. 29	金沢市・かほく市・津幡町・内灘町の消防相互応援に関する覚書 締結
R 3. 7. 8	無人航空機（ドローン）新規配備
R 4. 4. 1	消防士2名採用、消防職員47名
R 4. 6. 8	無人航空機（ドローン）追加配備 2台体制
R 5. 3. 29	消防本部庁舎改修
R 5. 4. 1	消防本部機構改革により、庶務課に消防団連携室、予防課に火災予防広報室、消防署に 警防管理対策室を新たに設置し、通信指令室および通信係を廃止する。
R 5. 5. 5	能登地方で最大震度6強の地震が発生（津幡町震度3観測） 県内消防相互応援協定に伴う応援出動（珠洲市）
R 5. 7. 12	豪雨災害（石川県に線状降水帯が発生し津幡町も被害を受ける。）
R 5. 10. 6	消防ポンプ自動車（CD-1型）が金沢市消防局から譲渡される。 （7月豪雨災害で被害を受けた笠谷分団車の代車を目的として）
R 6. 1. 1	令和6年能登半島地震（津幡町震度5弱観測）
R 6. 1. 2 ～ 3. 24	県内消防相互応援協定に伴う応援出動（能登地方） （1次隊7名、2次隊7名、3次隊5名、5次隊3名、8次隊3名、11次隊3名、 14次隊3名、19次隊3名、23次隊3名、28次隊3名 計40名）
R 6. 3. 1	高規格救急自動車（トヨタ）更新配備
R 6. 4. 1	津幡町消防団長に中川和也氏が就任 消防士1名採用、消防職員45名

消 防 組 織

(1) 機 構



(2) 消防本部事務分担

庶務課

係 名	分 担 事 務
庶務第 1, 2, 3 係	<ul style="list-style-type: none">(1) 公印の保管に関する事。(2) 例規の制定又は改廃に関する事。(3) 予算、決算に関する事。(4) 職員の人事、福利厚生規律及び服務に関する事。(5) 職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関する事。(6) 職員の研修及び教養に関する事。(7) 文章の收受、発送及び保存整理に関する事。(8) 消防職員委員会に関する事。(9) 消防相互応援協定に関する事。(10) 消防用財産の管理に関する事。(11) 消防用自動車等の購入及び維持管理に関する事。(12) 消防用資機材の開発及び取扱い指導に関する事。(13) 消防地、水利に関する事。(14) 開発行為に関する事。(15) 消防庁舎の維持管理に関する事。(16) 消防協会に関する事。(17) 他の所管に属さない事。
消防団連携室	<ul style="list-style-type: none">(1) 消防団員の人事、報酬、福利厚生及び服務に関する事。(2) 消防団員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関する事。(3) 消防団員の研修及び教養に関する事。(4) 消防団員の表彰事務に関する事。(5) 女性消防団員に関する事。(6) その他消防団に関する事。

予防課

係 名	分 担 事 務
<p>予防第 1, 2, 3 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 建築物の確認、許認可の同意に関する事。 (2) 消防設備等に関する事。 (3) 予防査察に関する事。 (4) 防火管理に関する事。 (5) 電気用品取締法に係る事務及び立入検査に関する事。 (6) 危険物の規制に関する事。 (7) 危険物取扱者及び危険物施設の管理者等の指導に関する事。 (8) 危険物施設の立入検査に関する事。 (9) 液化石油ガスその他高圧ガスの防火に関する事。 (10) 火薬、その他特殊物質の防火に関する事。 (11) 火薬類取締法に係る事務及び立入検査に関する事。 (12) 幼年、子ども、女性防火クラブの指導育成に関する事。 (13) 防火委員会に関する事 (14) 防火協会に関する事。
<p>火災予防広報室</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災予防広報、指導に関する事。 (2) 住宅防火対策に関する事。 (3) 特定防火対象物における防火安全対策に関する事。 (4) 防火・防災、消防訓練に関する事。 (5) 津幡町自主防災クラブ連絡協議会に関する事。

消防署

係 名	分 担 事 務
警防第 1, 2, 3 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防及び警防計画に関すること。 (2) 消防技術の指導研修に関すること。 (3) 消防訓練、消防団操法に関すること。 (4) 火災原因調査に関すること。 (5) 現場本部に関すること。 (6) 火災等り災証明に関すること。 (7) 応援出動に関すること。 (8) 災害対策の連絡調整に関すること。
救急救助係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務の管理指導に関すること。 (2) 救急救助資機材の保全整備に関すること。 (3) 救急救助訓練計画に関すること。 (4) 救急救命士及び水難救助隊に関すること。 (5) 救急搬送等の証明に関すること。
警防管理対策室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 警防査察に関すること。 (2) 消防水利に関すること。 (3) ドローンに関すること。 (4) 応急手当の普及啓発活動に関すること。 (5) 医療機関との連絡調整に関すること。 (6) 通信業務に関すること。

(3) 消防職員の定員と現員

令和6年4月1日現在

階級 所属	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
定 員	—	—	—	—	—	—	—	52
現 員	1	11	12	11	5	4	1	45

(4) 消防職員年齢

令和6年4月1日現在

階級 年齢	消 司 令 長	消 司 防 令	消 司 防 令 補	消 防 士 長	消 副 士 防 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
25歳未満						4		4
25～29					5			5
30～34				2				2
35～39				9				9
40～44			7					7
45～49		5	4					9
50～54		3						3
55歳以上	1	3	1				1	6
平均年齢	59	54	43	35	25	21	58	45 40

(5) 消防職員の勤務年数調

令和6年4月1日現在

階級 年数	消 司 令 長	消 司 防 令	消 司 防 令 補	消 防 士 長	消 副 士 防 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
5年未満					1	4		5
5～9					3			3
10～14				6	1			7
15～19			3	4				7
20～24		1	6	1				8
25～29		6	2				1	9
30年以上	1	4	1					6
計	1	11	12	11	5	4	1	45

(6) 消防吏員の資格取得状況

令和6年4月1日現在

種 別 \ 階 級	計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
大型自動車運転免許	33	1	10	12	10		
中型自動車運転免許	1		1				
大型特殊車両運転免許	6	1	2	2	1		
消防設備士（乙種）	26	1	5	8	7	4	1
危険物取扱者（丙種）	3	1	1	1			
危険物取扱者（乙種）	38		10	11	10	5	2
予防技術資格者	20		7	6	5	2	
小型船舶操縦士（二級）	12	1	4	6	1		
無線従事者免許（無線電話乙種）	4	1	2	1			
無線従事者免許（第二級陸上特殊無線技士）	39		9	11	11	5	3
特定化学物質作業主任	0						
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	13	1	11	1			
可搬ポンプ整備資格者	1		1				
ガス溶接技能講習	4	1	1		1	1	
玉掛技能講習	31	1	10	11	9		
小型移動式クレーン運転技能講習	32	1	10	12	9		
車両系建設機械技能講習	5	1	2	2			
潜水士（労働安全衛生法による）	30	1	6	10	10	3	
救急救命士	24	1	7	9	6	1	
救急救命士（気管挿管）	6			5	1		
救急救命士（薬剤投与）	10			7	3		
救急救命士（二処置）	10			7	3		

消 防 の 経 費

(1) 令和6年度当初予算の概要 (単位：千円)

区分	年度	前年度	本年度
常備消防費		364,288	380,043
非常備消防費		30,214	30,943
消防施設費		97,563	49,455
消防費総額		492,065	460,441

(2) 令和6年度一般会計当初予算状況 (単位：千円)

歳入		歳出	
区分	金額	区分	金額
町税	4,160,840	議会費	146,227
地方譲与税	140,018	総務費	1,465,086
利子割交付金	3,000	民生費	5,163,362
配当割交付金	23,000	衛生費	1,111,305
株式等譲渡所得割交付金	25,000	労働費	24,815
法人事業税交付金	48,000	農林水産業費	625,215
地方消費税交付金	820,000	商工費	221,297
ゴルフ場利用税交付金	17,000	土木費	1,571,820
環境性能割交付金	17,000	消防費	460,441
地方特例交付金	240,000	教育費	1,867,387
地方交付税	3,440,000	災害復旧費	922,397
交通安全対策特別交付金	3,000	公債費	1,503,648
分担金及び負担金	94,215	予備費	2,000
使用料及び手数料	63,328		
国庫支出金	2,238,845		
県支出金	1,451,107		
財産収入	10,849		
寄附金	10		
繰入金	665,513		
繰越金	1		
諸収入	242,174		
町債	1,382,100		
歳入合計	15,085,000	歳出合計	15,085,000

(3) 年度別一般会計決算額と消防費決算額の状況

区分 年度	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	一般会計に対 する比率 (%)	人口1人当り の消防費(円)	1世帯当り の消防費(円)
平成24年	13,455,347	374,935	2.8	9,985	29,317
平成25年	12,848,355	423,902	3.3	11,225	32,033
平成26年	13,421,523	537,573	4.0	14,237	40,153
平成27年	13,630,605	485,844	3.6	12,917	35,964
平成28年	12,972,292	513,407	4.0	13,649	38,005
平成29年	12,920,389	424,412	3.2	11,282	30,584
平成30年	13,145,437	453,493	3.4	12,060	32,244
令和元年	13,992,096	519,467	3.7	13,858	36,451
令和2年	21,267,967	435,908	2.0	11,629	30,162
令和3年	16,954,806	430,772	2.5	11,481	31,076
令和4年	16,635,029	540,749	3.3	14,466	36,493
令和5年	※14,541,000	※492,065	※3.4	※13,371	※35,497

※令和5年度は当初予算額

予 防 関 係

(1) 防火対象物数

令和6年3月31日現在

防火対象物種別		防火対象物数	
1	イ	劇場・映画館・演劇場	2
	ロ	公会堂・集会場	33
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	
	ロ	遊戯場・ダンスホール	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合・料理店	
	ロ	飲食店	15
4		百貨店・マールケット	41
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	4
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	183
6	イ	病院・診療所・助産所	20
	ロ	老人短期入所施設・老人ホーム等	22
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	25
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1
7		小・中・高・大各種学校	13
8		図書館・博物館・美術館	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1
	ロ	(イ)以外の公衆浴場	
10		車輛の停車場	3
11		神社・寺院・教会の類	32
12	イ	工場・作業場	152
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	3
	ロ	飛行機等の格納庫	
14		倉庫	53
15		前各項に該当しない事業所	98
16	イ	複合用途で特定対象物のあるもの	89
	ロ	複合用途で上記以外のもの	62
計			856

(2) 工事種別建築同意・通知届出状況

令和6年3月31日現在

用途別		工事種別	新築	増築	改築	移設	用途変更	模様替	計
1	イ	劇場・映画館・演劇場							
	ロ	公会堂・集会場							
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ							
	ロ	遊戯場・ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店							
	ロ	飲食店							
4		百貨店・マーケット							
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所							
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅							
6	イ	病院・診療所・助産所							
	ロ	老人短期入所施設・老人ホーム等							
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	2						2
	ニ	幼稚園・特別支援学校							
7		小・中・高・大各種学校		1					1
8		図書館・博物館・美術館							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場							
	ロ	(イ)以外の公衆浴場							
10		車輛の停車場							
11		神社・寺院・教会の類							
12	イ	工場・作業場	1	1					2
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場							
	ロ	飛行機等の格納庫							
14		倉庫	5				2		7
15		前各項に該当しない事業所	6						6
16	イ	複合用途で特定対象物のあるもの							
	ロ	複合用途で上記以外のもの		1					1
17		重要文化財・民族資料							
18		延長50m以上のアーケード							
		専用住宅	192	1				1	194
		併用住宅	1						1
		長屋	1						1
		その他	2						2
		計	210	4			2	1	217

(3) 月別建築同意・通知届出状況

令和6年3月31日現在

用途別		月別												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1	イ	劇場・映画館・演劇場													
	ロ	公会堂・集会場													
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ													
	ロ	遊戯場・ダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待合・料理店													
	ロ	飲食店													
4		百貨店・マーケット													
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所													
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅													
6	イ	病院・診療所・助産所													
	ロ	老人短期入所施設・老人ホーム等													
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	1								1				2
	ニ	幼稚園・特別支援学校													
7		小・中・高・大各種学校		1											1
8		図書館・博物館・美術館													
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場													
	ロ	(イ)以外の公衆浴場													
10		車輛の停車場													
11		神社・寺院・教会の類													
12	イ	工場・作業場								1	1				2
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ													
13	イ	自動車車庫・駐車場													
	ロ	飛行機等の格納庫													
14		倉庫	1					2		1			2	1	7
15		前各項に該当しない事業所	1	1				1			2	1			6
16	イ	複合用途で特定対象物のあるもの													
	ロ	複合用途で上記以外のもの												1	1
17		重要文化財・民族資料													
18		延長50m以上のアーケード													
		専用住宅	18	15	29	12	11	15	21	19	11	10	15	18	194
		併用住宅		1											1
		長屋	1												1
		その他			2										2
		計	22	18	31	12	11	18	21	21	14	12	17	20	217

(4) 諸届出状況

令和6年3月31日現在

届出区分	届出件数
火を使用する設備及び器具の設置届	7
電気設備設置届	15
喫煙等承認申請書	
ネオン管灯設備設置届	
水素ガスを充てんする気球の設置届	
火災とまぎらわしい煙等の行為届	52
煙火打上げ又は仕掛届	17
露店等の開設届	16
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届	13
圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届	
液化石油ガス貯蔵取扱届	2
毒物貯蔵取扱届	
水道断水減水届	4
道路工事届	105
計	231

(5) 過去5年間の建築届出件数

年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
建築届出件数	197	254	234	225	217

(6) 過去5年間の防火対象物使用開始届出状況

年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
防火対象物使用開始届出件数	21	34	20	28	28

(7) 消防用設備設置状況

令和6年3月31日現在

用途別		種別	自動火災報知設備	スプリンクラー	屋外消火栓	屋内消火栓	漏電火災警報器	非常警報設備	誘導灯	避難器具	消防用水
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	2			2		2	2		
	ロ	公会堂・集会場	16				1	35	63		
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ									
	ロ	遊戯場・ダンスホール	3			1		3	3	1	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲食店	4					7	36	1	
4		百貨店・マーケット	27	1	2	5		9	53		2
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	4			1	1		4		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	11			3	16	1	3	11	
6	イ	病院・診療所・助産所	10	2				4	21		
	ロ	老人短期入所施設・老人ホーム等	22	21			1	3	22	2	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	22			1	1	1	30	6	
ニ	幼稚園・特別支援学校	1						1			
7		小・中・高・大各種学校	13			13		5		5	
8		図書館・博物館・美術館						1			
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1						1		
	ロ	(イ)以外の公衆浴場									
10		車輛の停車場							1		
11		神社・寺院・教会の類	2			2	3	8		1	
12	イ	工場・作業場	70		9	24		2	1	1	2
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ	自動車車庫・駐車場	1								
	ロ	飛行機等の格納庫									
14		倉庫	21		1	7		1	2		
15		前各項に該当しない事業所	15			6	1	10	1	2	
16	イ	複合用途で特定対象物のあるもの	23	2		5	3	12	62	3	
	ロ	複合用途で上記以外のもの	5			2		1		1	
17		重要文化財・民族資料									
18		延長50m以上のアーケード									
計			273	26	12	72	27	105	306	34	4

(8) 危険物規制事務処理状況

令和6年3月31日現在

区 分 種 別		貯 蔵 所					取 扱 所		計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許 可	設 置								0
	変 更		1			1	2	2	6
完成検査	設 置								0
	変 更						2	2	4
種 類、数量変更									0
譲 渡、引 渡 届						1			1
廃 止			1		1				2
軽 微 変 更 届 出					3				3
予防規程（制定・変更）							3		3
保安監督者選解任		3	1				3	1	8
仮 使 用							1		1

種 別	計
仮 貯 蔵	0
仮 取 扱	0

(9) 液体危険物タンクの完成検査前検査状況

令和6年3月31日現在

水張検査	水 圧 検 査				計
10K以下	600以下	600を超え 10K以下	10Kを超え 20K以下	20Kを超えるもの	
					0

(10) 危険物施設の立入検査実施状況

令和6年3月31日現在

区 分 件 数		貯 蔵 所					取 扱 所		計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
検査施設数		3	2		8	11	5	15	44
検査延件数		3	2		8	11	5	15	44

(11) 危険物許可施設の分類 (完成検査済証交付施設)

令和6年3月31日現在

区分		貯 蔵 所					取 扱 所		計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
数 量 別	5 倍 以下	10	3	1	18	6	1	15	54
	5 倍を超え 10 倍以下		1	2	9		2	8	22
	10 倍 " 50 倍以下		1		5	2		2	10
	50 倍 " 100 倍以下						1		1
	100 倍 " 150 倍以下						3		3
	150 倍 " 200 倍以下						1	2	3
	200 倍 " 1000 倍以下				2		3		5
	1000 倍 " 5000 倍以下								0
計		10	5	3	34	8	11	27	98
類 別	第 1 類								0
	第 2 類								0
	第 3 類								0
	第 4 類	10	5	3	34	8	11	27	98
	第 5 類								0
	第 6 類								0
計		10	5	3	34	8	11	27	98

(12) 危険物施設の推移

令和6年3月31日現在

区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			計	事 業 所	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所			一 般 取 扱 所
年度別			9	5	3	38		9		12		27	103	69
令和元年度			9	5	3	38		9		12		27	103	69
令和2年度			10	6	3	38		9		12		27	105	70
令和3年度			10	6	3	34		8		11		27	99	65
令和4年度			10	6	3	36		8		11		28	102	66
令和5年度			10	5	3	34		8		11		27	98	64

(13) 手 数 料

〈許可、完成検査、タンク検査〉

令和6年3月31日現在（単位：円）

製造所等の許可、完成検査、タンク検査					
許可手数料		完成検査 手数料	タンク検査手数料		計
設 置	変 更		水 張	水 圧	
	104,000	52,000			156,000

〈仮貯蔵、仮取扱、仮使用〉

令和6年3月31日現在（単位：円）

仮貯蔵、仮取扱及び仮使用			
仮貯蔵手数料	仮取扱手数料	仮使用手数料	計
		5,000	5,000

(14) 圧縮アセチレンガス等、指定可燃物等及び少量危険物の状況

〈圧縮アセチレンガス〉

令和6年3月31日現在

圧縮アセチレンガス等					
圧縮アセチレンガス	無水硫酸	液化石油ガス	生石灰	毒物	劇物
7		321	1	2	2

〈指定可燃物等、少量危険物〉

令和6年3月31日現在

指 定 可 燃 物 等							少 量 危 険 物	
可燃性 固体類	石炭・ 木炭類	可燃性 液体類	合成 樹脂類	再生資源 燃料	その他	指定可燃物に 類する物品		移動 タンク
2			11	3	6		247	14

通信・装備関係

(1) 通信施設の設置状況

無線局設備一覧

方式	周波数に係る名称	用途	使用区域
デジタル	津幡町波 1	津幡町消防用	津幡町及び津幡町に隣接する市町の区域
デジタル	津幡町波 2	津幡町消防用	津幡町及び津幡町に隣接する市町の区域
デジタル	広域救急波	2市2町救急用	2市2町内
デジタル	ブロック内共通波	2市2町共通 指令音声バックアップ用	2市2町内
デジタル	主運用波 7	石川県内消防共通用	石川県内一円
デジタル	統制波 1~3	全国消防共通用	全国一円
デジタル	主運用波 1~6	周波数割当 各都道府県内 消防共通用	全国一円 (割当都道府県内)

区分 所属	呼出名称	局の種類 (W)	機 種	購入年月日	設 置 場 所
本 部 署	つばたしょうぼう	基地局 10	N E C	H28.3.15	消 防 本 部
	つばたしき 1	車載型移動局 10	富士通ゼネラル	"	指 揮 車
	つばた 1	"	"	"	津 幡 1 号 車
	つばた 2	"	"	"	津 幡 2 号 車
	つばたきゅうじょ 1	"	"	"	救 助 工 作 車
	つばたけいぼう 1	"	"	"	警 防 車
	つばたきゅうきゅう 1	"	"	"	救 急 1 号 車
	つばたきゅうきゅう 2	"	"	"	救 急 2 号 車
	つばたきざい 1	"	"	"	機 材 車
	つばたぶんだん 1	"	"	"	津 幡 分 団 車
	ちゅうじょうぶんだん 1	"	"	"	中 条 分 団 車
	いのうえぶんだん 1	"	"	"	井 上 分 団 車
	のせぶんだん 1	"	"	"	能 瀬 分 団 車
	くらみぶんだん 1	"	"	"	倉 見 分 団 車
	かさたにぶんだん 1	"	"	"	笠 谷 分 団 車
	たねぶんだん 1	"	"	"	種 分 団 車
	かわいだにぶんだん 1	"	"	"	河 合 谷 分 団 車
	くりからぶんだん 1	"	"	"	俱 利 伽 羅 分 団 車
	はぎさかぶんだん 1	"	"	"	萩 坂 分 団 車
	つばたしき 102	携帯型移動局 5	"	"	指 揮 車 携 帯
	つばた 101	"	"	"	津 幡 1 号 車 携 帯
	つばた 102	"	"	"	津 幡 1 号 車 携 帯
	つばた 201	"	"	"	津 幡 2 号 車 携 帯
	つばたきゅうじょ 101	"	"	"	救 助 工 作 車 携 帯
	つばたきゅうきゅう 101	"	"	"	救 急 1 号 車 携 帯
	つばたきゅうきゅう 201	"	"	"	救 急 2 号 車 携 帯
	つばたきざい 101	"	"	"	機 材 車 携 帯
	つばた 103	"	"	"	消 防 本 部
	つばた 104	"	"	"	消 防 本 部
	つばた 105	"	"	"	消 防 本 部
	つばた 106	"	"	"	消 防 本 部
	つばた 107	"	"	"	消 防 本 部
	つばた 108	"	"	"	消 防 本 部
つばたぶんだん 101	"	"	"	津 幡 分 団 車	
ちゅうじょうぶんだん 101	"	"	"	中 条 分 団 車	
いのうえぶんだん 101	"	"	"	井 上 分 団 車	
のせぶんだん 101	"	"	"	能 瀬 分 団 車	
くらみぶんだん 101	"	"	"	倉 見 分 団 車	
かさたにぶんだん 101	"	"	"	笠 谷 分 団 車	
たねぶんだん 101	"	"	"	種 分 団 車	
かわいだにぶんだん 101	"	"	"	河 合 谷 分 団 車	
くりからぶんだん 101	"	"	"	俱 利 伽 羅 分 団 車	
はぎさかぶんだん 101	"	"	"	萩 坂 分 団 車	
つばたけいび 1	卓上型移動局 5	"	N E C	"	消 防 本 部
つばたしき 101	可搬型移動局 10	"	富士通ゼネラル	"	指 揮 車

(2) 119番着信状況

区分 月	一般電話 (IP 電話含む)								合計	携帯電話								合計	総合計
	火災	救急	救助	その他災害	まちがい	いたずら	試験	その他		火災	救急	救助	その他災害	まちがい	いたずら	試験	その他		
1月	0	67	0	1	3	0	8	11	90	0	65	1	0	7	0	0	4	77	167
2月	7	51	0	0	8	0	5	7	78	9	69	0	0	5	0	0	4	87	165
3月	1	54	0	2	8	0	8	22	95	1	55	1	0	8	0	0	4	69	164
4月	0	60	1	0	4	0	4	3	72	0	68	2	0	21	1	0	6	98	170
5月	0	61	0	0	2	0	6	12	81	1	62	0	0	10	0	0	5	78	159
6月	0	46	0	0	2	1	4	12	65	0	53	0	0	6	0	0	3	62	127
7月	1	51	1	8	9	0	13	12	95	1	65	3	19	9	0	0	22	119	214
8月	0	62	0	1	4	0	3	6	76	0	81	0	1	13	0	6	1	102	178
9月	0	58	0	0	5	0	3	13	79	2	61	2	1	11	0	0	6	83	162
10月	0	48	0	0	6	0	8	15	77	0	59	0	1	8	0	0	4	72	149
11月	0	53	0	0	2	0	6	22	83	0	53	1	1	7	0	0	5	67	150
12月	0	62	0	1	3	0	8	9	83	1	60	1	0	5	0	1	3	71	154
合計	9	673	2	13	56	1	76	144	974	15	751	11	23	110	1	7	67	985	1959

(3) 消防車両の現有状況

配置別	種車別名	車体型式 総排気量(cc)	製作所名	購入年月日 購入価格(千円)
消防本部消防署	広報車 スバル	5BA-SK9 2,498	スバル	H 30.12.13 日本消防協会寄贈
	キャリイ軽自動車 スズキ	EBD-DA16T 650	スズキ	H 29. 7.14 1,015
	普通消防ポンプ車 日野	TKG-XZU685M 4,000	長野ポンプ(株)	H 29. 3.24 30,348
	水槽付消防 ポンプ車Ⅱ型 日野	SDG-GX7JGAA改 6,400	"	H 26. 3.10 株式会社グッドワン寄贈
	救助工作車Ⅱ型 日野	2KG-GX2ABA 5,120	帝国繊維株式会社	R 元.10. 3 94,932
	警防車 日産	DBA-NT31 1,997	石川日産	H 20. 1.17 4,648
	高規格救急自動車 トヨタ	3BF-TRH226S 2,693	トヨタ	R 6. 2.27 35,860
	"	CBF-TRH226S 2,693	"	H 29. 2. 1 31,860
	指揮車 トヨタ	3BF-TRH226K 2,690	(株)本田商会	R 2.12.18 13,145
	機材車 トヨタ	KG-LH178V 2,985	長野ポンプ(株)	H 13.12.25 4,357
団本部	水槽付消防 ポンプ車Ⅱ型 トヨタ	BDG-XZU378 4,000	長野ポンプ(株)	R 5.10.17 金沢市消防局より譲渡
津幡分団	普通消防ポンプ車 日野	BDG-XZU378M 4,000	長野ポンプ(株)	H 23. 4.22 12,589
中条分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	"	H 28.12.10 11,232
井上分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	"	H 28.12.10 11,232
能瀬分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	"	H 30.12. 3 14,364
倉見分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	"	H 28.12.10 11,232
笠谷分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	日本機械工業(株)	H 27.11. 6 11,664
種分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	"	H 27.11. 6 11,664
河合谷分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	長野ポンプ(株)	H 27. 3.30 12,420
倶利伽羅分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	"	H 27. 3.30 12,420
萩坂分団	" 日野	TKG-XZU685M 4,000	"	H 26. 3.25 14,385

(4) 消防水利の現況

令和6年4月1日現在

種別 管轄分団別	消火栓	防 火 水 槽			
		40～59 m ³	60～99 m ³	100 m ³ 以上	計
津幡分団	209	29 (3)	2	3	41 (3)
中条分団	213	41 (3)	1	5 (3)	48 (6)
井上分団	61	17	2		19
能瀬分団	107	24 (2)		1	25 (2)
倉見分団	81	11	1 (1)		16 (1)
笠谷分団	57	16			17
種分団	40	7			7
河合谷分団	25	6			6
俱利伽羅分団	87	22 (1)			22 (1)
萩坂分団	53	23 (3)			23 (3)
合 計	933	196 (12)	6 (1)	9 (3)	211 (16)

()は私設

※基準外 20～39 m³防火水槽 13 基 (内私設 5 基)。総数 224 基 (内私設 21 基)

(5) 化学消火薬剤備蓄状況

令和6年4月1日現在

化学消火薬剤種別	備蓄量
たん白系 3%型	
たん白系 6%型	
合成界面活性剤	900
水成膜泡消火薬剤	2,7600
水溶水液体用泡消火薬剤	
第 1 種 粉末	
第 2 種 粉末	
第 3 種 粉末	
第 4 種 粉末	
合 計	2,8600

火災統計

(1) 火災概況（前年との比較）

区 分		令和 4 年 (a)	令和 5 年 (b)	増減 (b) - (a)	
火災件数	計 (件)	6	7	1	
	建 物	5	5	0	
	林 野	0	1	1	
	車 両	1	0	△1	
	船舶・航空	0	0	0	
	その他	0	1	1	
焼損棟数	計 (棟)	5	12	7	
	全 焼	0	4	4	
	半 焼	0	0	0	
	部分焼	3	3	0	
	ぼ や	2	5	3	
焼損面積	建 物	床面積 (㎡)	3	454	451
		表面積 (㎡)	1	12	11
	林 野 (a)	0	44	44	
損害額	計 (千円)	1, 446	13, 772	12, 326	
	建 物	664	13, 149	12, 485	
	林 野	0	17	17	
	車 両	782	550	△232	
	船舶・航空	0	0	0	
	その他	0	56	56	
罹 災	世 帯	4	9	5	
	人 員	9	19	10	
死傷者	死 者	1	2	1	
	負傷者	2	2	0	

(2) 過去5年間の火災概況

区 分		年 次					
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
火災件数	計(件)	7	4	5	6	7	
	建 物	4	4	4	5	5	
	林 野	1	0	0	0	1	
	車 両	2	0	1	1	0	
	船舶・航空	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	1	
焼損面積	建 物	床面積(m ²)	351	393	58	3	454
		表面積(m ²)	35	27	62	1	12
	林 野(a)	2	0	0	0	44	
損 害 額 (千円)		38,795	31,055	7,789	1,446	13,772	
出 火 率 (件/万人) ※人口は1月1日現在の住民基本台帳による		1.9	1.1	1.3	1.6	1.9	
火災原因	たばこ		1	1			
	こんろ	1			1		
	焼却炉						
	ストーブ	2				1	
	こたつ						
	ボイラー						
	煙突・煙道					1	
	排気管	1			1		
	電気機器				1		
	電灯・電話配線	1					
	配線器具						
	内燃機関						
	火あそび						
	マッチ・ライター						
	たき火	1					
	灯火						
	衝突の火花						
	取灰						
	火入れ						
	放火						
放火の疑い							
その他			4	3	1		
不明	1	3			4		
調査中							

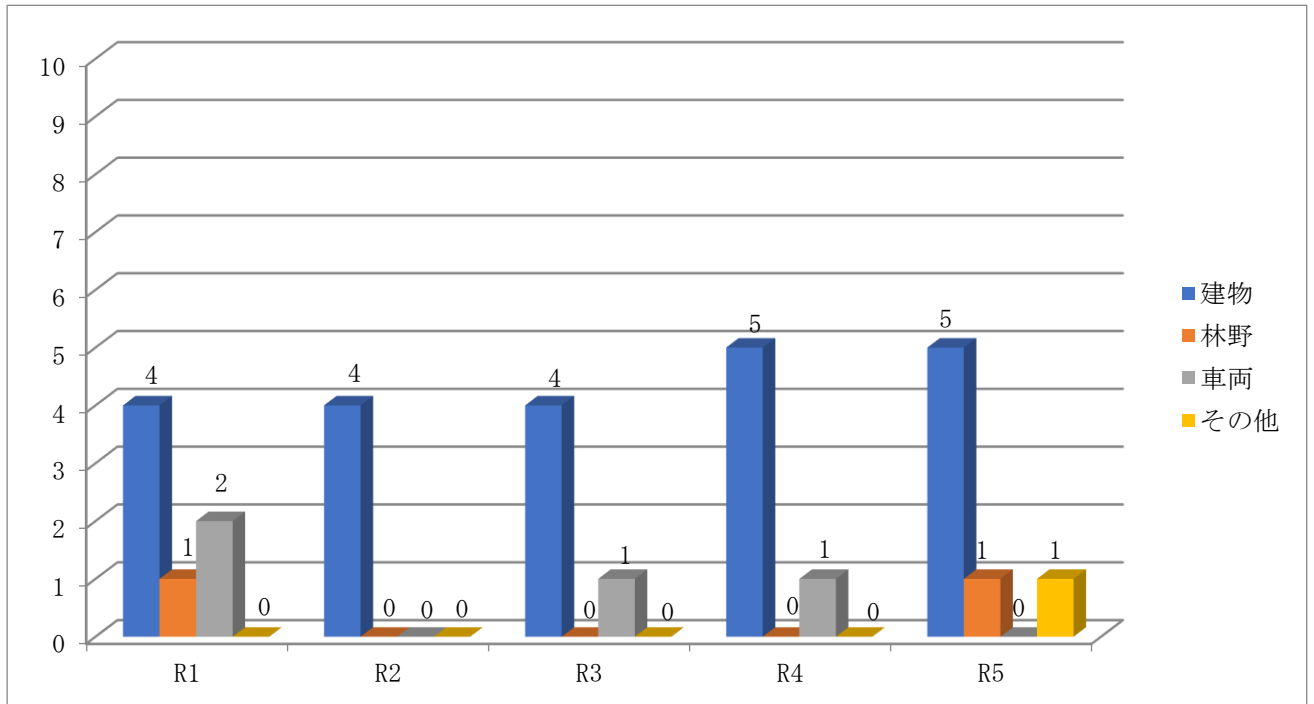
(3) 月別火災発生状況

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災件数	計(件)	7	0	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0
	建 物	5		3	1					1			
	林 野	1			1								
	車 両	0											
	船舶・航空	0											
	その他	1					1						
焼損棟数	計(棟)	12	0	8	1	0	0	0	0	0	3	0	0
	全 焼	4		3						1			
	半 焼	0											
	部分焼	3		2						1			
	ぼ や	5		3	1					1			
焼損面積	床面積㎡	454		345						109			
	表面積㎡	12		7						5			
	林野(a)	44			44								
損 害 額	計(千円)	13,772	0	6,887	64	0	0	0	0	6,821	0	0	0
	建 物	13,149		6,722	47					6,380			
	林 野	17			17								
	車 両	550		109						441			
	船舶・航空	0											
	その他	56		56									
罹 災	世 帯	9		4	2					3			
	人 員	19		9	3					7			
死 傷 者	死 者	2		2									
	負 傷 者	2		1	1								

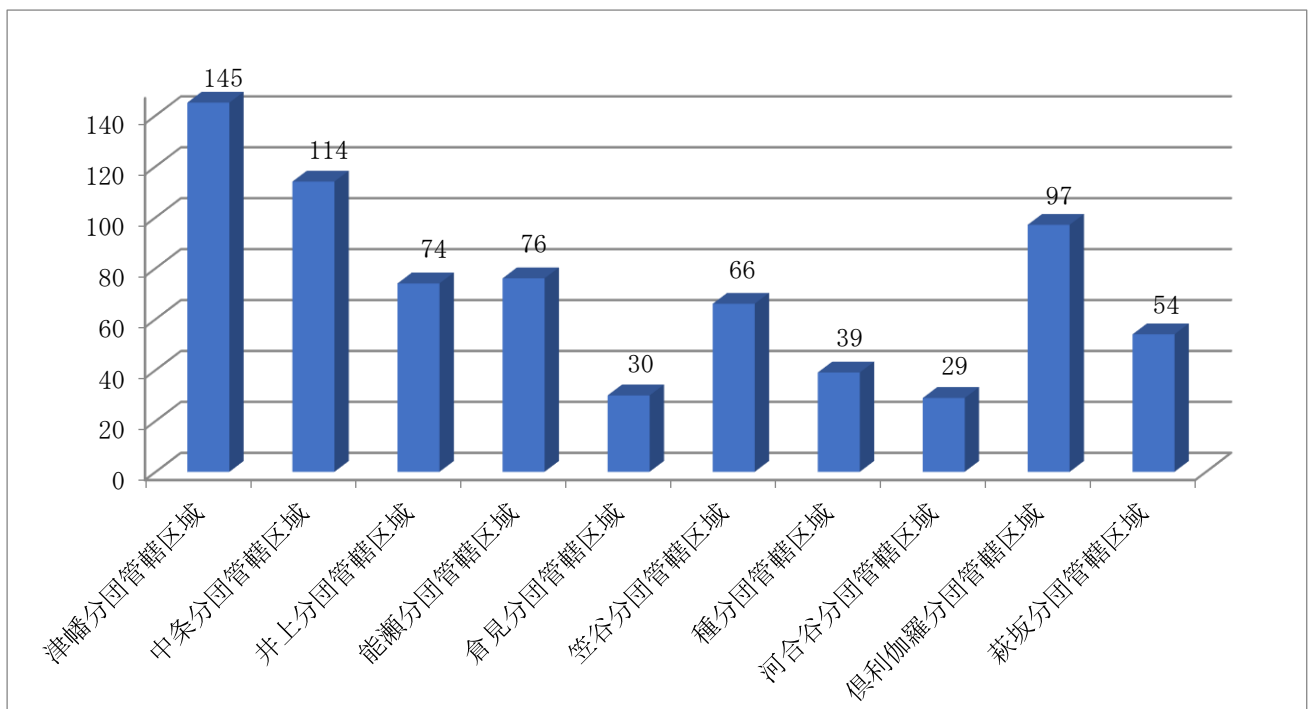
(4)時間帯、曜日別火災発生状況

曜日 時間帯	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
0時			1						1
1時									0
2時									0
3時									0
4時									0
5時							1		1
6時									0
7時									0
8時				1					1
9時	1								1
10時					1				1
11時									0
12時									0
13時					1	1			2
14時									0
15時									0
16時									0
17時									0
18時									0
19時									0
20時									0
21時									0
22時									0
23時									0
不明									0
計	1	0	1	1	2	1	1	0	7

(5) 過去5年間の火災件数の推移



(6) 昭和30年以降地域別火災発生件数



救急救助統計

◎救急出動の状況

令和5年中の救急出動件数は、1,433件（対前年比169件増、13.4%増）となっている。1日平均では約3.9件（同約0.4件増）の救急出動となる。

搬送人員は、1,294人（同129人増、11.1%増）となっている。市民の約28人に1人（前年約32人に1人）が救急隊によって搬送されたことになる。（参照(1)）。

搬送の原因となった事故種別をみると、急病が924人（71.4%）、一般負傷が189人（14.6%）、その他が104人（8%）、交通事故が56人（4.3%）などとなっている。（参照(2)）。

◎傷病程度別搬送人員の状況

令和5年中の搬送人員1,294人のうち、40.3%が入院加療を必要としない軽症（外来診療）傷病者及びその他（医師の診断がないもの等）となっている。（参照(3)）。

◎年齢区分別事故種別搬送人員の状況

令和5年中の搬送人員1,294人の内訳を年齢区分別にみると、新生児が1人（0.08%）、乳幼児が88人（6.8%）、少年が55人（4.3%）、成人が343人（26.5%）、高齢者が807人（62.4%）となっている。（参照(4)）。

急病では高齢者568人（43.9%）、交通事故では成人29人（2.2%）、一般負傷では高齢者137人（10.6%）が最も高い割合で搬送されている。（参照(4)）。

◎現場到着所要時間の状況

令和5年中の出動件数1,433件の内訳を現場到着所要時間（119番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間）別にみると、5分以上10分未満が1,015件で最も多く、全体の70.8%となっている。（参照(5)）。

現場到着所要時間の平均は約8.0分（前年約8.3分）となっている。

◎病院収容所要時間の状況

令和5年中の搬送人員1,294人の内訳を病院収容所要時間（119番通報を受けてから医師に引き継ぐまでに要した時間）別にみると、30分以上60分未満が978人（75.6%）で最も多くなっている。（参照(6)）。

病院収容所要時間の平均は約40.8分（前年約41.0分）となっている。

◎救助業務の状況

令和5年中における救助活動の実施状況は、救助活動件数20件（対前年比7件増、53.8%増）、救助人員（救助活動により救助された人員をいう。）15人（同6人増、66.7%増）である。（参照(7)）。

事故種別をみると、交通事故が7人（35%）、建物等による事故が6人（30%）、機械による事故が3人（15%）、その他が2人（10%）などとなっている。（参照(7)）。

(1) 救急概要（前年との比較）

区 分		年 別	令和4年	令和5年	前年比増減	
出 動 件 数	火 災		0	2	2	
	自 然 災 害		0	3	3	
	水 難		1	0	△1	
	交 通 事 故		47	55	8	
	労 働 災 害		14	7	△7	
	運 動 競 技		6	9	3	
	一 般 負 傷		172	202	30	
	加 害		3	1	△2	
	自 損 行 為		10	4	△6	
	急 病		917	1,045	128	
	そ の 他	転 院		89	102	13
		医 師 搬 送		0	0	0
		資 材 搬 送		0	0	0
		そ の 他		5	3	△2
計			1,264	1,433	169	
不 搬 送 件 数			103	145	42	
搬 送 人 員			1,165	1,294	129	
1 ヶ 月 平 均 出 動 件 数			105.3	119.4	14.1	
" 搬 送 人 員			97.1	107.8	10.7	
1 日 平 均 出 動 件 数			3.5	3.9	0.4	
" 搬 送 人 員			3.2	3.6	0.4	
1 日 最 多 出 動 件 数			9	10	1	

(2) 救急出動件数

事故種別		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
区分		災	害	難	事	災	競	負		行		他	
出動件数		2	3	0	55	7	9	202	1	4	1,045	105	1,433
不搬送件数		0	3	0	3	1	0		0	1	122	2	145
搬送人員		2	0	0	56	6	9	189	1	3	924	104	1,294
性別	男	1	1	0	30	6	6	91	0	2	493	44	674
	女	1	0	0	24	1	3	111	1	2	543	59	745

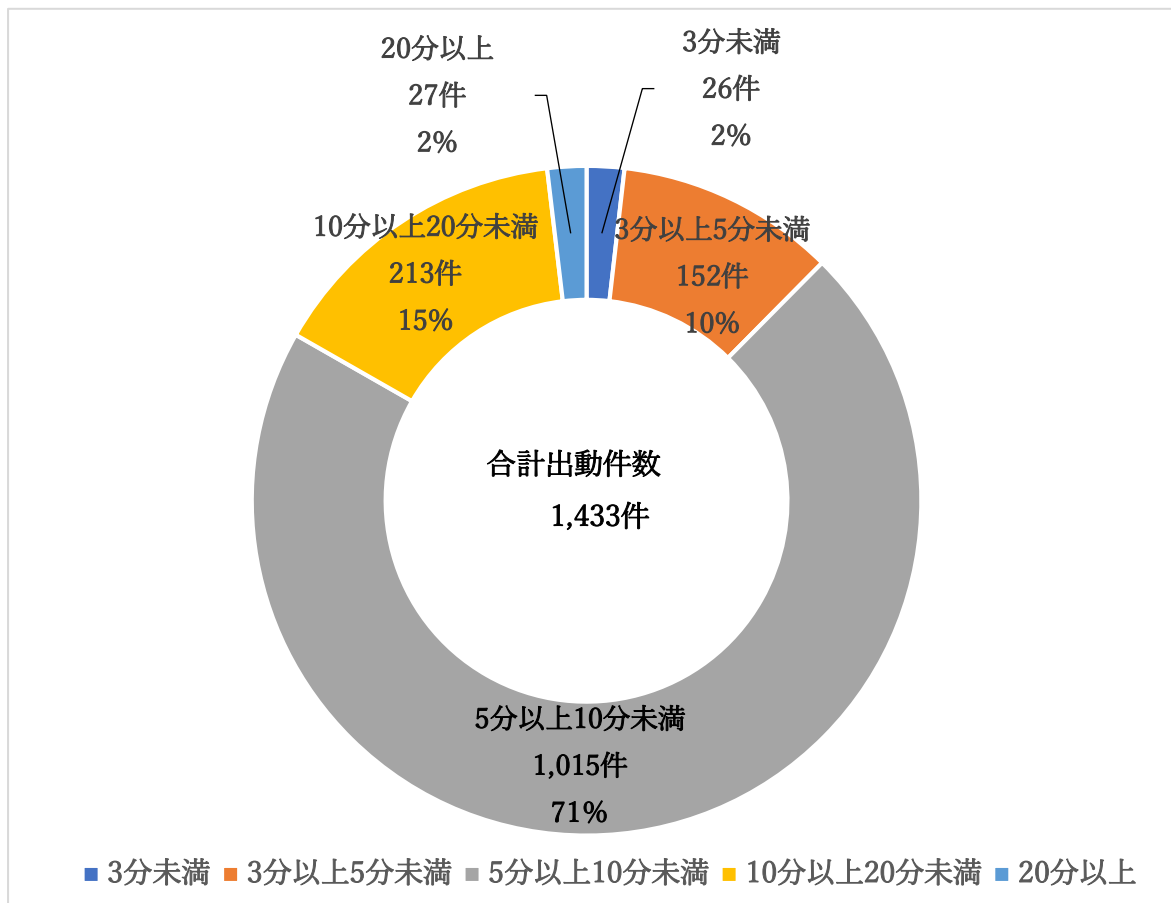
(3) 傷病程度別搬送人員状況

事故種別		程度別					計
		死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	
火 災		0	0	2	0	0	2
自然災害		0	0	0	0	0	0
水 難		0	0	0	0	0	0
交通事故		0	4	8	44	0	56
労働災害		0	0	1	5	0	6
運動競技		0	0	2	7	0	9
一般負傷		0	51	47	91	0	189
加 害		0	0	0	1	0	1
自損行為		1	0	2	0	0	3
急 病		28	100	427	366	3	924
そ の 他		1	28	70	5	0	104
計		30	183	559	519	3	1,294

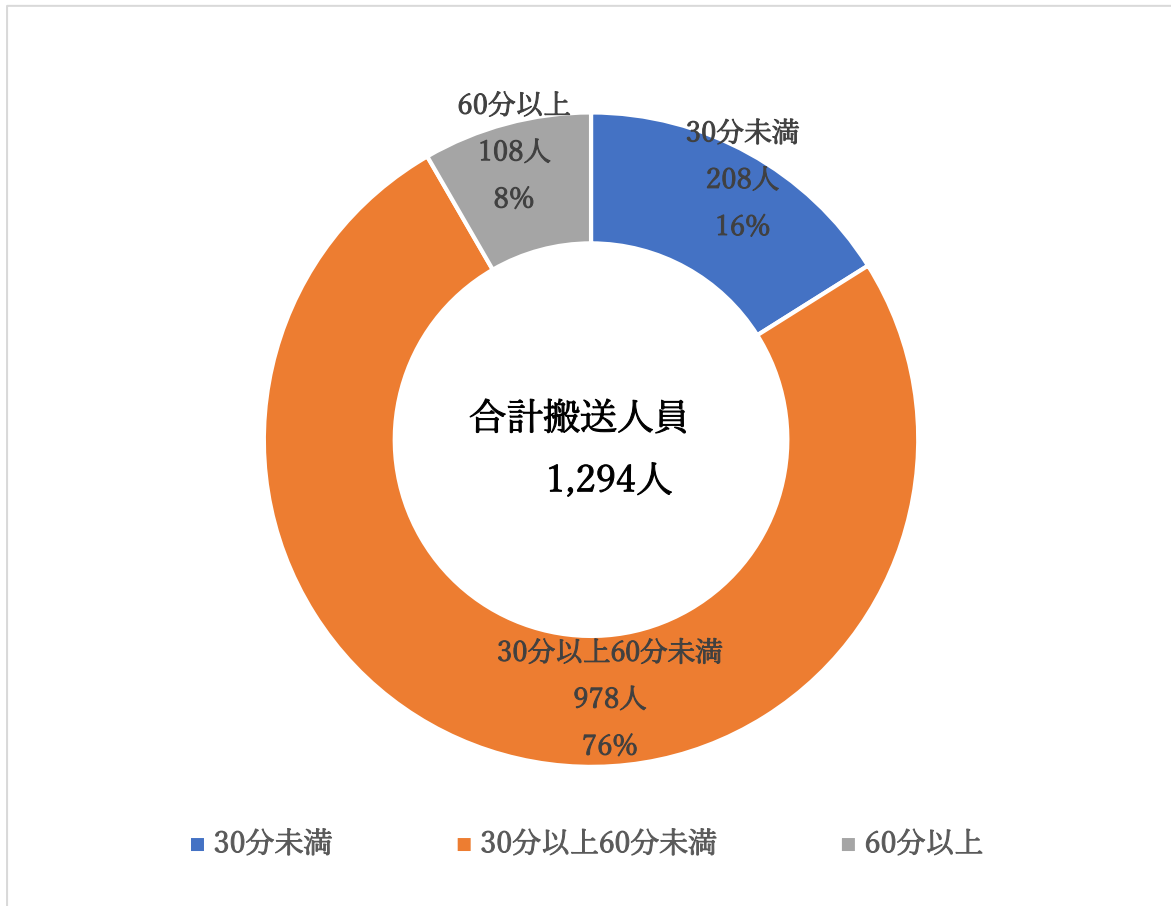
(4) 年齢区分別搬送人員

事故種別 年 齡	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
乳幼児	0	0	0	1	0	0	11	0	0	75	1	88
少年	0	0	0	9	0	4	7	0	0	35	0	55
成人	0	0	0	29	6	5	34	1	2	246	20	343
高齢者	2	0	0	17	0	0	137	0	1	568	82	807
計	2	0	0	56	6	9	189	1	3	924	104	1,294

(5) 現場到着所要時間別出動件数(覚知～現場到着)



(6) 病院搬送所要時間別搬送人員(覚知～病院収容時間)



(7) 救助業務状況

事故別		区分	出動件数	救助活動 件 数	非 救 助 活動件数	救 出 人 員		
						男	女	合 計
前 年 比 較	令和4年		13	9	4	5	6	11
	令和5年		20	15	5	14	12	26
火 災	4年		0	0	0	0	0	0
	5年		0	0	0	0	0	0
交 通 事 故	4年		5	4	1	3	3	6
	5年		7	5	2	5	7	12
水 難 事 故	4年		1	0	1	0	0	0
	5年		1	0	1	0	0	0
自然災害事故	4年		0	0	0	0	0	0
	5年		2	2	0	2	1	3
機 械 に よ る 事 故	4年		0	0	0	0	0	0
	5年		3	3	0	3	0	3
建 物 等 に よ る 事 故	4年		6	4	2	2	2	4
	5年		6	4	2	3	3	6
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	4年		0	0	0	0	0	0
	5年		0	0	0	0	0	0
破 裂 事 故	4年		0	0	0	0	0	0
	5年		0	0	0	0	0	0
そ の 他	4年		1	1	0	0	1	1
	5年		2	1	1	1	1	2

消防団関係

(1) 消防団の沿革

- 昭和 29 年 3 月 31 日 津幡町、中条村、井上村、英田村、笠谷村の 5 町村が合併、同時に五町村、5 消防団を 1 消防団に編成し、ポンプ自動車 6 台、手挽ガソリンポンプ 2 台、団員 240 名を以って津幡町消防団が発足した。
- 昭和 29 年 5 月 16 日 羽咋郡河合谷村を編入合併と同時に河合谷地区に 1 ケ分団を置き 8 ケ分団となる。
- 昭和 32 年 2 月 1 日 旧倶利伽羅村と合併、同地区 2 ケ分団を編入し、10 ケ分団となり、ポンプ車 10 台定員 217 名に編成した。
- 昭和 44 年 3 月 27 日 消防団員定数条例を 164 名に改正
- 昭和 48 年 3 月 20 日 消防団員定数条例を 165 名に改正
- 昭和 56 年 3 月 25 日 消防団員定数条例を 166 名に改正
- 平成 10 年 4 月 1 日 消防団員定数条例を 176 名に改正(女性消防団員 10 名採用)
- 平成 21 年 1 月 1 日 消防団員定数条例を 181 名に改正(機能別消防団員 5 名採用)

(2) 消防団階級別団員定数

令和 6 年 4 月 1 日現在

階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団員数	1	3	10	10	13(1)	42(2)	102(6)	181(9)

以下 () 内は女性消防団員数

(3) 団員の実員数

令和 6 年 4 月 1 日現在

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	1	3						4
女性消防団					1(1)	2(2)	4(4)	7(7)
機能別消防団							5(1)	5(1)
津幡分団			1	1	3	4	8	17
中条分団			1	1	1	4	9	16
井上分団			1	1	1	4	8	15
能瀬分団			1	1	1	4	8	15
倉見分団			1	1	1	4	7	14
笠谷分団			1	1	1	4	7	14
種分団			1	1	1	4	7(1)	14(1)
河合谷分団			1	1	1	4	7	14
倶利伽羅分団			1	1	1	4	9	16
萩坂分団			1	1	1	4	8	15
計	1	3	10	10	13(1)	42(2)	87(6)	166(9)

(4) 団員の報酬

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬（月額）	13,500円	8,500円	6,800円	5,000円	4,600円	4,100円	3,800円 機能別消防団員 1,900円
水火災出動報酬	団員 1名	1回当り	4,000円	4時間を超える場合		8,000円	
警戒報酬	団員 1名	1回当り	3,500円	4時間を超える場合		7,000円	
訓練報酬	団員 1名	1回当り	2,500円				

(5) 団員階級別年齢

令和6年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満								
20歳以上25歳未満							3	3
25歳 " 30歳 "							7	7
30歳 " 35歳 "							19(1)	19(1)
35歳 " 40歳 "						6	20(1)	26(1)
40歳 " 45歳 "						12	11(1)	23(1)
45歳 " 50歳 "				4	7	11	6	28
50歳 " 55歳 "			6	3	5	8	7	29
55歳以上	1	3	4	3	1(1)	5(2)	14(3)	31(6)
計	1	3	10	10	13(1)	42(2)	87(6)	166(9)

(6) 団員の在職年数別調べ

令和6年4月1日現在

在職年数	5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
		10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
166	13	46	25	28	18	25	11
うち女性		4	1	1		3	

(7) 消防団分団管轄区域名及び面積

分 団 名	管 轄 区 域	面 積
津 幡 分 団	加賀爪、庄、清水、津幡、横浜	5.85 km ²
中 条 分 団	南中条、北中条、潟端、太田、浅田、浅谷	7.85 km ²
井 上 分 団	川尻、中須加、五反田、中橋、湖東、井上の荘	7.57 km ²
能 瀬 分 団	舟橋、加茂、能瀬、領家、谷内、御門、御門出町、下矢田	10.09 km ²
倉 見 分 団	杉瀬、倉見、緑が丘	5.38 km ²
笠 谷 分 団	岩崎、田屋、七黒、鳥越、山北、蓮花寺、宮田、鳥屋尾、 籠月、大島、蒔谷、笠池ヶ原、彦太郎島、吉倉、八ノ谷、 市谷、大熊	13.18 km ²
種 分 団	上矢田、中山、種、小熊、池ヶ原、興津、菩提寺、平野	12.31 km ²
河 合 谷 分 団	上大田、下河合、上河合、瓜生、牛首、木ノ窪	21.69 km ²
俱 利 伽 羅 分 団	竹橋、富田、刈安、越中坂、坂戸、上野、原、九折、 俱利伽羅、山森、下中、上藤又、河内	15.91 km ²
萩 坂 分 団	七野、東荒屋、明神、井野河内、大坪、下藤又、仮生、 舟尾、材木、大窪、常德、南横根、別所、朝日畑、相窪、 北横根、旭山	10.61 km ²
	計	110.59 km ²

そ の 他

(1) 自警団 小型動力ポンプ現有状況

令和6年4月1日現在

No.	自警団名	名称	ポンプ型式	級別	年 式			出力、その他
1	中 須 加	ト ー ハ ツ	V 2 0 0 1	C1	H	9		8.6KW
2	五 反 田	ラ ビ ッ ト	P 3 8 1	C1	H	10		11KW
3	八 ノ 谷	ト ー ハ ツ	V 1 5 A	C1	S	55	1	6.6KW
4	吉 倉	ト ー ハ ツ	V 2 0 B S	C1	H	4	5	8.6KW
5	勘 谷	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	57	10	8.6KW
6	笠 池 ヶ 原	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	57	10	8.6KW
7	彦 太 郎 畠	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	57	10	8.6KW
8	市 谷	ト ー ハ ツ	V 1 5 A	C1	S	55	8	6.6KW
9	〃	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	60	10	8.6KW
10	大 畠	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	57	10	8.6KW
11	岩 崎	ラ ビ ッ ト	P 3 8 0 S	C1	H	6	5	15PS
12	田 屋	ラ ビ ッ ト	P 3 8 0 S	C1	H	6	5	15PS
13	鳥 屋 尾	ラ ビ ッ ト	P 3 8 2	C1	H	16	5	15PS
14	七 黒	ラ ビ ッ ト	P 3 8 0 S	C1	H	6	8	15PS
15	瓜 生	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	60	10	8.6KW
16	上 大 田	ロ ビ ン	P 3 8 2 M	C1	H	17	11	11KW 15PS
17	九 折	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	60	10	8.6KW
18	河 内	ラ ビ ッ ト	P 3 0 3 P	C1	H	14	1	7.3KW
19	富 田	ラ ビ ッ ト	P 3 0 3	C1	S	51	12	13PS
20	俱 利 伽 羅	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	58	1	8.6KW
21	上 野	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	60	10	8.6KW
22	坂 戸	ト ー ハ ツ	V 2 0 B	C1	S	60	10	8.6KW
23	竹 橋	ラ ビ ッ ト	P 3 8 0 S	C1	H	11	3	11KW 15PS
24	上 藤 又	ト ー ハ ツ	V 1 5 A	C1	S	54		6.6KW
25	下 中	ラ ビ ッ ト	P 3 8 0 S	C1	H	6	8	15PS
26	七 野	ラ ビ ッ ト	P 3 8 0 S	C1	H	6	8	15PS
27	宮 田	ラ ビ ッ ト	P 3 0 3	C1	H	18	1	7.3KW

(2) 女性防火クラブ軽可搬消防ポンプ等現有状況

令和6年4月1日現在

No.	女性防火クラブ	名 称	ポンプ型式	級 別	年 式			出力、その他
1	山 北	トーハツ	V 1 0 0 1	D1	H	27	8	2.8KW
2	渦 端	トーハツ	V 1 0 F	D1	H	18	10	5PS
3	坂 戸	トーハツ	V 1 0 D	D1	S	61	8	2.8KW
4	寺 尾	ラビット	P 2 0 5 B	D1	S	63	8	3.2PS
5	東荒屋	トーハツ	V 1 0 F	D1	H	20	1	2.8KW
6	吉 倉	トーハツ	V 1 0 E	D1	H	4	8	5PS
7	緑が丘	トーハツ	V 1 0 F	D1	H	13	1	5PS

(3) 自主防災クラブ小型動力ポンプ現有状況

令和6年4月1日現在

ク ラ ブ の 名 称	名 称	ポンプ型式	級 別	年 式			出力、その他
津幡中央地区 自主防災クラブ	ラビット	P 3 8 1 (M)	C1	H	12	8	11 KW 15 PS
	ラビット	P 3 8 1 (M)	C1	H	12	8	11 KW 15 PS
	ラビット	P 3 8 1 (M)	C1	H	12	8	11 KW 15 PS
	ラビット	P 3 8 1 (M)	C1	H	12	8	11 KW 15 PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	3	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	11	8.6KW 11.7PS
中条地区自主防災クラブ	ラビット	P 3 8 1 (M)	C1	H	12	8	11 KW 15 PS
	トーハツ	V 2 0 0 1	C1	H	12	8	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V 2 0 0 1	C1	H	12	8	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	3	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	11	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	11	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	5	11	8.6KW 11.7PS
英田地区自主防災クラブ	トーハツ	V 2 0 0 1	C1	H	12	8	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	3	8.6KW 11.7PS
井上地区自主防災クラブ	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	3	8.6KW 11.7PS
笠井地区自主防災クラブ	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	11	8.6KW 11.7PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	5	11	8.6KW 11.7PS
河合谷地区自主防災クラブ	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	5	11	8.6KW 11.7PS
笠野地区自主防災クラブ	ラビット	P 3 0 3 B	C1	H	24	11	7.3KW 13 PS
	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	3	8.6KW 11.7PS
萩坂地区自主防災クラブ	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	4	11	8.6KW 11.7PS
刈安地区自主防災クラブ	トーハツ	V E 2 5 A	B3	R	5	11	8.6KW 11.7PS

(4) 幼年消防クラブの結成状況

令和6年4月1日現在

クラブの名称	クラブ結成年月日				所在地	隊員数
中条東保育園幼年消防クラブ	S	59	8	1	津幡町北中条6丁目39	133
井上保育園幼年消防クラブ	S	59	8	1	津幡町字中橋イ55-1	185
寺尾保育園幼年消防クラブ	S	59	8	1	津幡町字越中坂61	33
能瀬保育園幼年消防クラブ	S	59	8	1	津幡町字領家イ5	134
津幡とくの幼稚園幼年消防クラブ	H	14	10	27	津幡町字潟端715-1	46
さくらこども園幼年消防クラブ	H	14	10	27	津幡町字潟端709	105
ちいろばこども園幼年消防クラブ	H	17	10	16	津幡町字南中条3号62	193
住吉こども園幼年消防クラブ	H	22	4	1	津幡町字庄口142	195
実生こども園幼年消防クラブ	H	25	4	1	津幡町字津幡口5-1	173
しいのきこども園幼年消防クラブ	H	31	4	1	津幡町字太田は157	171
計						1,368

(5) 子ども消防クラブの結成状況

令和6年4月1日現在

クラブの名称	クラブ結成年月日				所在地	隊員数
加賀爪子ども消防クラブ	S	44	5	1	津幡町字加賀爪	58
舟橋子ども消防クラブ	S	58	8	4	津幡町字舟橋	17
倉見子ども消防クラブ	S	59	10	1	津幡町字倉見	7
清水子ども消防クラブ	H	3	7	5	津幡町字清水	59
計						141

(6) 女性防火クラブの結成状況

令和6年4月1日現在

クラブの名称	クラブ結成年月日				所在地	隊員数
津幡町女性防火クラブ	S	56	12	15	津幡町字七黒	8
原女性防火クラブ	S	57	12	21	津幡町字原	19
瀧端女性防火クラブ	S	58	8	22	津幡町字瀧端	5
坂戸女性防火クラブ	S	60	7	1	津幡町字坂戸	26
寺尾女性防火クラブ	S	61	6	1	津幡町字越中坂	64
相窪女性防火クラブ	H	元	1	10	津幡町字相窪	6
東荒屋女性防火クラブ	H	元	1	10	津幡町字東荒屋	101
吉倉女性防火クラブ	H	2	4	1	津幡町字吉倉	15
緑が丘女性防火クラブ	H	10	7	24	津幡町緑が丘	8
計						252

(7) 自主防災クラブの結成状況

令和6年4月1日現在

クラブの名称	クラブ結成年月日				事務局		
津幡中央地区自主防災クラブ	H	9	3	30	津	幡	公 民 館
中条地区自主防災クラブ	H	9	1	17	中	条	公 民 館
井上地区自主防災クラブ	H	9	3	8	井	上	公 民 館
英田地区自主防災クラブ	H	9	2	20	英	田	公 民 館
笠井地区自主防災クラブ	H	9	2	20	笠	井	公 民 館
笠野地区自主防災クラブ	H	9	3	22	笠	野	公 民 館
河合谷地区自主防災クラブ	H	8	11	20	河	合 谷	公 民 館
刈安地区自主防災クラブ	H	9	3	10	刈	安	公 民 館
萩坂地区自主防災クラブ	H	9	3	18	萩	野 台	公 民 館

令和6年津幡町防火標語

「ちょっとだけ」 油断の心を 火はつかむ

津幡町消防本部

〒929-0325 石川県河北郡津幡町字加賀爪ハ 109 番地 1

TEL 076-288-3000 FAX 076-288-5598

URL <http://www.town.tsubata.ishikawa.jp/shisetsu/shobou/>

E-mail shobousho@town.tsubata.lg.jp